

## 生活単元学習「地域に学ぼう～お茶～」

中学部2・3年1組、1・3年1組、訪問1組では、宇治市、城陽市の特産物である「お茶」を題材に生活単元学習に取り組みました。校内の茶畑で茶葉を摘んで触れたり、実際にお茶を淹れたりする等体験的に学ぶことができました。茶葉を炒った時には、香ばしい香りに「いい匂い。」と言ったり、笑顔で気持ちを表現したりする生徒がいました。お茶を淹れる時には、徐々に変化するというお湯の色に気付いて「みどり になった。」と伝えたり、緑茶を飲んで「にがい。」「おいしい。」と言ったり、渋い表情や何度もおかわりする等、普段飲み慣れないお茶の味をそれぞれに感じる姿が見られました。

単元後半には、「お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな」で校外学習を行い、煎茶体験をしてきました。急須や茶器等を使った本格的な体験に生徒たちは少し緊張した面持ちで取り組み、淹れ方により変化する煎茶を味わうことができました。そして、事前に作った茶葉入りの紙漉きフォトフレームには、みんなの良い顔の集合写真を入れました。「お茶」の学習をとおして、地域の方と交流したり、日本古来の伝統を知ったりする等深い学びがありました。

